

知識・技術研修を積極的に開催

水道事業の人材育成・技術継承に貢献

当協会は、水道事業の環境として外部の関係者を対象に「保健所・市町水道担当者研究協議会」、「広島水道塾」、「水みらいアカデミー」を開催しています。



担当者研究協議会での橋本氏による講演



広島水道塾の実習風景

保健所・市町水道担当者研究協議会は、昭和63年から開始した当協会の歴史ある研修です。当協会が主催し、県内の水道事業者、衛生行政が参加して、関係者が連携を深める機会となっています。研修では、有識者や水道事業者から情報提供をしていただき、最新の知見を共有しています。今年度は11月22日に開催し、アクアスフィア・水教育研究所の橋本氏から「日本と世界の水道問題」という講演をしていただき、広島水道局から水道苦情等の事例について紹介をしていただきました。広島水道塾も当協会が主催しています。平成27年から開始し、今年度で4回目となりました。現場の技術者を

対象とした技術研修で、日常の水質管理に役立つ検査項目について、座学、実習、グループディスカッションを行っています。知識、技術の習得はもちろんですが、参加者同士の交流を深めることも大きな目的です。今年度は12月21日に開催し、水質検査計画の作成に

について水道事業者等とともに学びました。水みらいアカデミーは、当協会と業務提携をしている株式会社水みらいが主催する水道全般のセミナーです。テーマは、浄水処理、管路、電気、ポンプ、水質管理、広域化・官民連携、企業会計など多岐にわたっています。当協会は水質管理を担当しています。研修には、水道事業者だけではなく広く民間企業も参加し、県外からの参加者もいます。今年度は11月16日に開催され、当会から「水中に潜む有害微生物」という演題で情報提供

安心・安全をテーマに「食のセミナー」開催

今年度は数年ぶりの食品衛生法改正の年となり、多くの食品事業者の今後の事業活動に影響を与える年になったのではないのでしょうか。特に「HACCP」に沿った衛生管理の制度化は、食品の国際化の進展といった我が国の食を取り巻く環境変化によるものと思われま

す。今年度も食品事業者、衛生行政の担当者、そして食の安心・安全に携わる方々を対象に「平成30年度食のセミナー」を開催します。今回は、食品事業者にお

平成30年度「食のセミナー」開催要領

日時：平成31年2月13日(水) 13:00～16:20
場所：(公財)広島県看護協会(広島市)
講演1「HACCP導入後における検証と微生物検査のあり方(案)」
講師 ROBY フードセーフティコンサルティング 柳平 修一 氏
講演2「HACCPの制度化に向けた我が社の品質管理の取り組み(仮)」
講師 キューピー株式会社 品質保証本部 食品安全科学センター 次長 宮下 隆 氏

けるHACCP導入に向けた衛生管理の取り組みなどの講演を予定しています。講師の貴重な経験談など、参加

を行い、参加者から好評を得ました。水道事業は、官民連携、広域化が推進され、広島県においても関係者が多様化しています。当協会も広島県の水道事業の一員として、また

健康クリニック 予防医学事業 中央会奨励賞



当協会・健康科学センターの浜田志穂臨床検査課課長補佐が、「職務に専念し、他の範となりさらに今後の活躍を期待しうる者」として(公社)予防医学事業中央会の「予防医学事業中央会奨励賞」を受賞しました。

地域の方々々と天満川を清掃 軽トラ3杯分のごみを回収



当協会は、協会前の天満川を清掃する活動「環保協前天満川クリーン作戦」を、社会貢献活動の環として毎年1回実施しています。9回目となる今年度は、11月3日(土)に開催しました。当日は、当協会の役員とその家族や近隣事業所及び地域の方々など92名が参加し、天満川にかかる横川新橋から中広大橋の遊歩道と河川内に分かれて清

掃しました。河川内清掃は、胴長や長靴を履き、干潮時刻に合わせて河川内に入って作業しました。護岸工事で左岸側の清掃をしなかったにもかかわらず、約1時間の清掃で、ペットボトルや空き缶など、軽トラ3杯分のごみを回収しました。今年度9回目の清掃となりませんが、回収するごみの量は年々増加傾向にあるため、この活動を継続して実施することの重要性を感じました。今後も近隣事業所や地域の方々々と連携してこうした活動を継続し、水環境の改善や地域の環境美化に貢献していきます。

平成30年度 地区衛生組織活動資金募集 『環境・健康募金』



通称 『環境・健康募金』

環境・健康募金は、昭和35(1960)年から実施し、平成30年度で59回目を迎えました。集まった募金は、募金委員会によって適正に配分され、各市町公衛協の活動資金として地域社会に役立てられています。

環境・健康募金 総額(円) **50,891,973**

市町名	募金額(円)	対前年実績比(%)
府中町	1,265,960	75.9
海田町	1,990,000	82.4
熊野町	1,429,288	99.1
坂町	351,500	95.0
江田島市	1,795,050	98.1
竹原市	1,650,800	99.9
大崎上島町	323,200	101.9
大竹市	2,434,316	96.5
廿日市市	3,114,539	91.7
廿日市市大野	2,560,002	102.2
廿日市市佐伯	0	0.0
廿日市市吉和	42,300	74.6
廿日市市宮島	189,400	98.1
安芸太田町	712,400	96.5

市町名	募金額(円)	対前年実績比(%)
北広島町	823,200	75.9
安芸高田市	1,325,200	64.3
東広島市	4,153,495	97.3
三原市	1,298,456	77.2
世羅町	700,600	81.5
尾道市	3,884,950	87.2
福山市	8,768,802	100.9
府中市	1,078,360	98.9
神石高原町	0	0
三次市	1,945,953	81.4
庄原市	1,667,200	68.6
呉市	7,325,691	96.5
その他	61,311	89.6
合計	50,891,973	90.0

- 環境協に配分された募金は、以下のような事業に活用しています。
- 公衆衛生推進手帖の作成・配布
- 公衆衛生推進委員養成に関わる各種研修の開催(夏季大学など)
- 全県共通事業重点メニュー(1万人のエコチェック事業、公衛協発ウォーキング事業の提供グッズの作成など)
- 広島県公衆衛生大会の開催
- 環境と健康の学習ルームの運営

◆環境と健康の学習ルーム 貸出グッズ一例◆

サニークッカー

環境学習DVD

※この表は、平成30年11月末までに市町公衛協事務局から募金委員会に振込みのあった実績額を示しています。